

業課
農振興

新たな特産品づくりの研究や実践を紹介
バイオフォーラム

備北バイオの里づくり推進協議会は、備北地域の豊かな農産物などの資源を活かした地域振興を図ることを目的にした、新たな特産品づくりに向けた、研究、実践の成果を広く紹介する「バイオフォーラム」を1月29日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

県立広島大学生命環境学部甲村浩之准教授による「地域課題解決に向けた県大におけるトマト研究」に関する講演や、県大・農業技術大学の学生、庄原実業高校の生徒による地元農産物を使った商品開発など、8つのテーマで実践研究成果の発表が行われました。

また、トマトのジャムやピクルス、米粉を使ったビスケットなど、地元食材を使



地元食材を使った食品を試食

用した食品の試食会も行われ、約100人の参加者は研究の成果を熱心に聴き入っていました。

今後、教育機関に恵まれた備北地域の教育環境を生かし、相互の連携を深めながら、新しい農業の振興に取り組んでいきます。

涯課
生学

もつとスキーがうまくなりたいたい！
レベルアップスポーツ教室

スキーの技術を学ぶレベルアップスポーツ教室を1月27日、県民の森スキー場で開催し、初心者45人を含む小学校1年生から62歳までの155人が参加しました。

当日は、時折吹雪く天候となりましたが、参加者は庄原市の誇る27人の講師陣（現役国体選手や広島県アルペンコーチ、全日本スキー連盟公認指導者）の熱い指導のもと、スキー技術の向上を目指して真剣に取り組んでいました。

参加した初心者の方は「すごく楽しかった。またここに来てもっとうまくなりたいたい」と声を弾ませていました。

治課
自振興

「地域づくり」は「仲間づくり」
「Uターン者の「しよっばら愛サミット」開催

市民同士の交流は、まちづくりへの参画、協働の第一歩と考え、本市にUターンした方を対象にした「しよっばら愛サミット」を2月17日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

参加者はそれぞれに「庄原市に来た理由」「市民同士でやりたいこと」を挙

げ、その中から「庄原の良さを伝える」「庭づくり」「農業」「集いの場・ネットワークづくり」の4テーマに分かれて語り合いました。

20代から60代の幅広い世代25人が参加。船崎美智子さん（ライフスタイル研究所代表）の進行で、たくさんの意見やアイデアが出されました。「これまでにないテーマで、盛り上がった」「若者と交流できてよかった」「もつと交流したい」などの感想があり、終了後も個々に情報交換するなど、新たなつながりが芽生えていました。

今後、市民、団体、企業などへ呼びかけ、出会いの場を広げることで、参画、協働のまちづくりを進めていきます。



教室の様子



船崎さんの進行で、楽しくアイデア出し